

Yokohama City Center For Industrial Technology & Design Casebook

# Case of Design

2018

### 横浜市工業技術支援センター

## デザインの取組

### Design デザイン相談

「誰にどうやって依頼をすれば良いかわからない」、「会社概要や製品パンフレットの相談がしたい」、「自社ホームページや展示会への出展で何をすれば良いかわからない」等の中小企業が関わる様々なデザイン課題に対して、プロのデザイナーが企業を訪問し、お話を伺ったうえで解決方法についてアドバイスいたします。

#### ■相談料は無料

横浜市内に事業所を有する中小企業を対象に、一社年度内 5 回まで無料でご利用頂けます。

*Support*

### Design デザイン調製

会社概要、パンフレット、チラシ、ポスター等を相談だけではなく、実際の制作まで依頼したい場合には、デザイン調製で当センターのデザイナーが制作までいたします。

撮影、印刷が必要な場合でも別途ご手配も可能ですので、まずはお問い合わせください。

※有料になります。金額についてはお問合せください。

*Support*

### Design デザイン産学

市内中小企業の商品開発支援、プロモーション支援等幅広く対応したデザイン産学。

デザインを学ぶ教育機関の協力を得て、デザイン産学連携プログラムを実施しています。各教育機関の学生が自らの感性や発想などの強みを生かして商品企画や販促提案に取り組みます。

*Collaboration*

## デザインの領域

デザインは意匠といった形・色・図柄だけの領域ではなく、販売や営業上の計画に合わせた展開を企画し、そこに表現を加えていく物なので、「誰に・何を・どうやって伝える」かの一連の流れに沿った物にする事が必要です。



## Design Collaboration

デザイン産学連係プログラムには、複数の教育機関にご参加いただいております。  
プロダクトデザイン、生活デザイン、スペースデザイン、グラフィックデザインといったデザインの表現部分だけでなく、企画から提案まで行い、実践に近い形でデザインに取り組んでいます。



Product Design



Movie



Graphic Design



Other



## 横浜市工業技術支援センター：デザイン調整実例集

## Design Case 1 株式会社景泉機器

依頼：  
会社概要の制作

課題：  
 ① 今までに印刷された会社概要を持っていなかった。  
 ② 自社の強みや、打ち出したいポイントが不明確。  
 ③ パンフレットに使える画像が少ない。

取組：  
 ① 印刷物としての会社概要制作に着手  
 ② 自社メリット、強味を探しつつ、製品よりも技術を打ち出す事で、  
     それぞれの工程での可能領域を見せてメリットとして打ちだす表現した。  
 ③ リクルート対策として、従業員の写真や声を掲載した。

## 制作物／作業：

A4 横開き冊子 16 ページ フルカラー

- ・撮影
- ・ディレクション（コピーライティングアドバイス）
- ・デザイン
- ・DTP 作業一式



## Design Case 2 パンステージプロローグ

依頼：  
会社概要の制作

課題：  
 ① 今までに印刷された会社概要を持っていなかった。  
 ② リクルーティングにも使用したい。  
 ③ 一般客に配布というより、有名店で取材したされた時に配布する目的と  
     新卒採用時に本人とその家族に見せられる物が必要としている。

取組：  
 ① お店の魅力と、商品のシズル感を出す。  
 ② お店の方針やコンセプトをきちんと打ち出す。  
 ③ リクルート対策として、表紙に働く従業員の姿を掲載。  
 ④ 中面見開き上段を心構え経営理念にしつつ、左頁を商品、右頁を店舗の  
     内容に配置し、理解と見やすさに配慮。

## 制作物／作業：

A4 縦 冊子 4 ページ フルカラー

- ・撮影（1部撮影、シズル感などの写真はフードカメラマンに依頼し、ディレクション）
- ・ディレクション（コピーライティングアドバイス）
- ・デザイン
- ・DTP 作業一式



## Design Case 3 中央機工株式会社

依頼：  
製品パンフレットの制作

課題：

- ① 数十年前に製作したパンフレットをリニューアルしたい。
- ② 仕様の変更を反映させて、新製品の内容も加えたい。
- ③ パンフレットに使える画像や図版などが少ない。

取組：

- ① 古いイメージのデザインを新しくする。
- ② 品番などの表記のしかたを統一し、整理してレイアウト。
- ③ 製品の内容が、わかりやすくなるように構成。
- ④ 寸法表は単体で利用できるように別紙にする。

制作物／作業：

パンフレット／A4 縦 冊子 4 ページ フルカラー  
寸法表／A4 縦 片面 モノクロ

- ・ディレクション（コピーライティングアドバイス）
- ・デザイン
- ・撮影
- ・DTP 作業一式



## Design Case 4 株式会社エムアイストーリー

依頼：  
販売促進ツール、取扱説明書の制作

課題：

- ① 今までにデザイナーが作成した印刷物が無かった。
- ② ポスターや POP を展示会などで使用したい。
- ③ 取扱説明書をわかりやすくしたい。

取組：

- ① 展示会場などで、効果的に伝わる販売促進用ツールを選択。
- ② ツールの使用場面に合わせた効果的なデザイン。
- ③ 製品の特徴や良さが伝わるデザインとレイアウト。

制作物／作業：

ポスター／A0 フルカラー  
チラシ／A4 縦 両面 フルカラー  
POP／A3 パネル 2 種類 フルカラー  
取扱説明書／A4 両面 フルカラー

- ・ディレクション（コピーライティングアドバイス）
- ・デザイン
- ・DTP 作業一式
- ・インクジェットプリンター出力



## 横浜市工業技術支援センター：デザイン产学連係

Design  
Collaboration

株式会社ドリーム X 相模女子大学

## 依頼：

平面スピーカーのプロダクトデザイン

## 課題：

- ① 平面スピーカーという機能的にも意匠的にも特徴のある製品である。
- ② 単なる意匠的なデザインではなく、使われ方、場面まで想定したデザインにする。



## 取組：

- ① チーム毎にテーマを決めた学生の編制で取組んだ。
- ② テーマ毎に使用される環境や、使用例を踏まえたデザインのラフスケッチや提案。
- ③ スケッチから紙、段ボール、スチロール素材でのモック作成。
- ④ CADデータ起こし、精密鋳金企業に依頼し、実物の試験機を制作。



## 制作物／作業：

平面スピーカー試作品

Design  
Collaboration

櫛澤電気製作所 X 横浜デジタルアーツ専門学校

## 依頼：

溶岩窯リールオープンのプロモーション

## 課題：

- ① 展示会があり、その展示会で使用したい。
- ② 溶岩釜の良さ、リールオープンのメリットを打ち出したい



## 取組：

- ① アイディアを出し合い、強味とPR手法を検討
- ② リールオープンの説明用パンフレットの制作
- ③ 展示会で流せるPR動画の制作



## 制作物／作業：

A4 縦 冊子 4 ページ フルカラー

- ・撮影（1部撮影、シズル感などの写真はフードカメラマンに依頼）
- ・デザイン
- ・DTP 作業一式

# デザイン产学連携プログラムについて

横浜市が計画しているデザイン产学連携事業は、自社の技術・製品・商品等の新たな展開を考えている中小企業がテーマを提示し、それに対して、デザイン系教育機関の学生が自らの感性や発想等の強みを活かした提案に取り組むものです。

この事業を実施することで、中小企業と学生が1つのテーマに沿って検討を行い、お互いの意思疎通を図ることにより、学生にとっては企業の生きたビジネスの世界を知る機会となることを、中小企業にとっては学生のアイデアを事業のヒントとして生かせる好機となることを目的とします。

## 日程

※今後、参加企業と教育機関が協議の上で、実施内容及び日程を決めていくことになります。  
過去に取り組んだ事例をもとにした日程を、ご参考として記載いたします。

### 1 公募

市内中小企業から本事業で取り組むテーマの募集を開始します。

(募集期間 1月下旬から2月末までを予定)

### 2 ヒアリング

横浜市が中小企業から提出テーマについてヒアリングを行います。

(3月中を予定)

### 3 テーマの決定

ヒアリングをもとに横浜市、教育機関が取り組むテーマを決定します。

(3月中を予定)

### 4 ミーティング

横浜市、教育機関、中小企業との間で、実施方法等の詳細について打合せを行います。

(3月下旬を予定)

### 5 オリエンテーション

中小企業から教育機関の学生に対して、テーマの目的や注意点などの説明を行います。

(4月を予定)

### 6 チェック

提案がテーマの目的等から外れていないか横浜市と中小企業がチェックを行います。

(7月～9月を予定)

### 7 最終プレゼンテーション

完成した提案を中小企業にプレゼンテーションします。中小企業は、提案の中から優秀なものを選び表彰します。  
(12月を予定)

### 8 テクニカルショウヨコハマでの発表

取り組み内容と教育機関の学生の提案をテクニカルショウヨコハマの横浜市ブースにおいて展示する予定です。  
(翌年2月を予定)

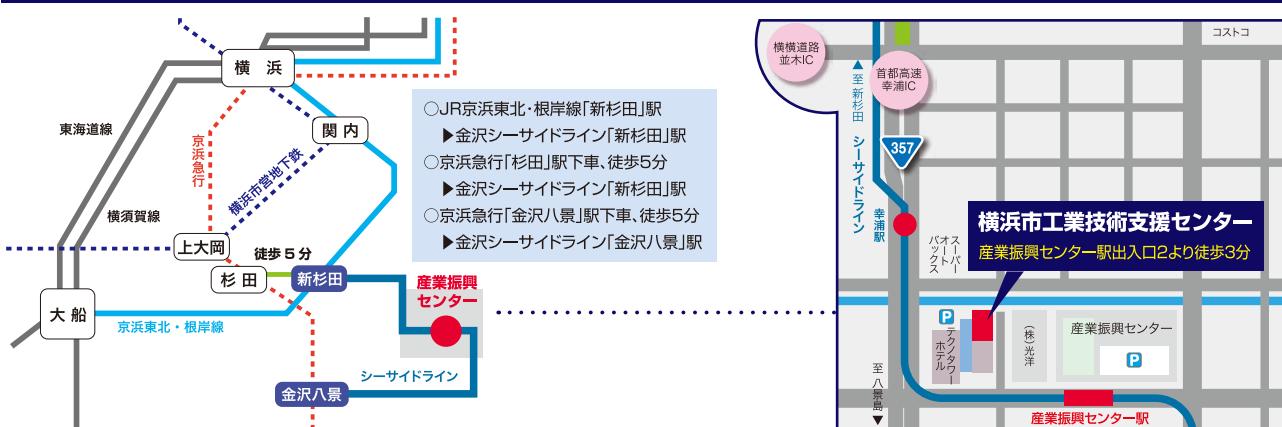


## 横浜市工業技術支援センター デザイン部門

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦1-1-1

□ TEL: 045-788-9000 □ FAX: 045-788-9555 □ e-mail: ke-kogyogijutsu@city.yokohama.jp  
ご相談受付時間：平日（月～金・祝日を除く） 8:45～17:00

### access



### 設 備

- iMac
- レーザーカラープリンター OKI MICROLINE C911
- 大判インクジェットプリンター EPSON PX-H9000
- 3D プリンター FDM 方式 Stratasys FORTUS250mc

### 3D技術支援事業・3D技術導入への相談

#### 3Dプリンターを活用した造形物の試作支援

3D-CADデータの作成・修正から造形物の出力サービスと市内3Dサービスピューローについての情報提供を行っています。